

てんかんとは

不定期に繰り返し起こる発作を主な症状とする脳の慢性的な病気です。

【症候性てんかん】

脳の異常(事故による頭部外傷など)によって引き起こされる。

【特発性てんかん】

脳に異常は無いが、発作が起こる。初発が1~5歳であることが多い。血液検査、神経学的検査、MRI等を行い、これと言って発作を起こす原因が見つからない場合に診断されます。

《症状》

■ 全般発作(全身的な発作)

強直発作:全身がピーンと突っ張って痙攣する。

間代発作:全身がガクガクと痙攣する。



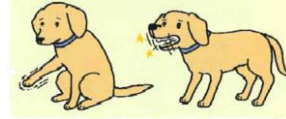
強直発作



間代発作

■ 焦点発作(体の一部分だけに発生する発作)

…口だけをパクパクしたり、1本の足だけ震えるなど。



発作が起こる前には何となく落ち着かない、クワンクワン鳴くなどの予兆が見られることがあります。また、発作直後は呼びかけに応じない、ぼんやりしているなど、いつもの状態に戻るまで時間がかかります。



1 発作前症状

そわそわしたり、微振はさまさま



2 発作

多くは2分以内



3 発作後のもうろう状態 (発作後症状)

《治療》

残念ながらてんかんそのものを根治することは出来ません。

発作が起きると脳組織に損傷が起こります。損傷を最低限にするため、発作が起こりにくいように、または程度を軽くする目的でお薬を使用します。(基本的には生涯必要です)

お薬は「月に3回程度発作が起きたら」開始の日安です。

お薬の量の調節のために、血中濃度が適切かどうか定期的に測定する必要があります。

お薬だけでコントロールが難しい子には、中鎖脂肪酸に着目した特発性てんかん用の療法食もあります。

発作が5~10分程度続いたり、落ち着かないうちに再度発作を起こす【重積発作】の場合、脳障害が重篤になる可能性があるため、緊急で鎮静剤を使わなければなりません。すぐに病院にご連絡ください。

《発作が起きたら》

特に全般発作の場合には本人の意識がハッキリしないことも併せて、とても慌ててしまうと思います。しかし、発作中は本人も「何が起きているんだろう」と不安な気持ちになっています。不安を強めないように、また正しく獣医師に状態を伝えるためのポイントを以下にまとめています。

- ✓ 落下を避けるため、ソファなどに居る場合は広い床にタオルなどを敷いて寝かせる。
- ✓ 噛まれる恐れがあるので、口に手を入れたり舌を引っ張ったりしない。
- ✓ 可能であれば動画を撮影する。(全体的+表情分かるように)
- ✓ 必要以上に刺激しないよう、静かに見守ってください。部屋を薄暗くしたり、顔にタオルを掛けて視覚情報も減らし、落ち着くまで待ちましょう。